

テーマ:色

テーマを設定する

・36色の色鉛筆がクラスにあり、色の名前を覚えたり日頃から好きな色についての会話が多いことから、このテーマに設定する。

活動①色を混ぜる

・絵の具を2色混ぜ、好きな色を作ったりどんな色になるのか知る。

探索活動を実践する

○活動内容

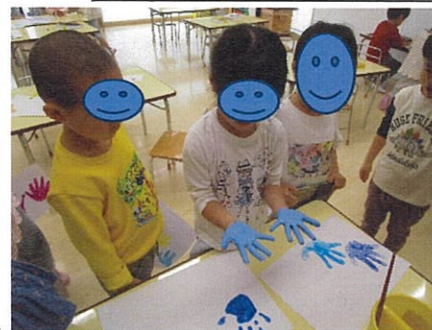
絵の具を使って色を混ぜ、好きな色を作る。

○活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関り

- ・好きな色を混ぜ合わせることを楽しむ。
- ・好きな色を作るために色を混ぜ、成功と失敗をする中で予想した色とは違う色でも作った色をどんな色なのか調べ「ときわいろ」「まつばいろ」など新しい色の名前を知る。

活動スケジュール

活動内容	時間	人数
① 色を混ぜる	1時間程度	19名
② 虹・色鬼で遊ぶ	1時間程度	19名
③ 色のイメージや好きな色について語り合う	1時間程度	19名
④ 「色が持つイメージについて」	1時間程度	19名
⑤ 新しい生物を描こう	1時間程度	19名
⑥ 花火・自由画制作	1時間程度	19名
⑦ 運動会のテーマ決め	1時間程度	19名
⑧ 運動会の入場門装飾製作	1時間程度	19名



振り返りを踏まえた気づき

- ・パレットだけでなく手のひらの上で絵の具の混ぜり具合いやその感触を楽しめたのも良かった。
- ・「この色とこの色を混ぜると〇〇色になる」と理解したり、新たに気になった色を混ぜて実験のように楽しむ姿も見られた。

活動②虹・色鬼で遊ぶ

・好きな色が増え「虹色」が好きな児も増え、興味を示すようになる。

環境をデザインする

○準備した物

・色鉛筆・塗り絵



探索活動を実践する

○活動内容

・「虹色」への興味がわき、塗り絵を使って自分が思う「虹」を表現する。

○活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり

・好きな色が増えて一色に選べない児が「虹が好き」とこたえるようになる。

・活動の中で「いろ、いろ、何の色～」と自然と色鬼が始まり教室からホールへ移動しながら楽しむ姿がみられる。

振り返りを踏まえた気づき

・一人ひとり好きな色はもちろん、虹に対する感覚（色彩）も違い個性的な色を使って塗り絵を楽しむ姿が多かった。

・身の回りの物やの地上の中で気にも留めていなかった物の色を意識して一日中、色鬼遊びを楽しむ姿が見られた。

活動③色のイメージや好きな色について語る

- ・ごっこ遊び（回転寿司屋さん）

環境をデザインする

- ・画用紙・クレヨン・マジック
- ・セロハンテープ
- ・容器等

探索活動を実践する

○活動内容

ピンク/かわいい みずいろ/かっこい みどり/落ち着くなどイメージを共有し回転寿司屋さんに発展する。

○活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関り

- ・折り紙をしていて「赤はまぐろ」「オレンジはサーモン」「白はイカ」など寿司のネタに見立てて遊ぶ。
- ・2～3人がお寿司を作り更に遊びが広がり、寿司以外にもメニュー表など作っていき、回転寿司ごっこをクラスで楽しむようになる。



振り返りを踏まえた気づき

- ・クラスの大半が回転寿司に行ったことがあり、そこからどんな物があれば回転寿司ごっこができるか考え、作り物を楽しみながら遊んでいた。
- ・クラスだけでなく年中、年少の3クラスでごっこ遊びができたのも年長児クラスの自信につながったのではないかな？

活動⑤新しいいきものを描こう

・海や陸に居そうな生き物を考えて描く。書いた生き物に命名するなどしていく。

環境をデザインする

・画用紙・クレヨン

探索活動を実践する

○活動内容

前回の活動で「太陽は何色か？」で意見が分かれた。その際、自分とは違う意見だとしても人それぞれ感じ方が違ってあたりまえ。「その人にはそう見えているのかもしれない」という声上がり、それであれば全く新しい形や色のものを自分たちで作り出してみよう！と盛り上がる。テーマを「生き物」に絞って製作を開始する。

○活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり

こんな形・こんな色の生き物はどう？とどんどんアイデアが浮かび描いていく子がいる一方で、全く進まない子もいる。そうした子には動物や魚のイラストを渡し「好きないろで縫ってみない？」と声を掛ける。すると「じゃあ…こんな色にしちゃった！〇〇も描いてみる。」と取り組み出す。描き終えたいきものに名前をつけたり、特徴も考えてもらい互いに発表していく。



振り返りを踏まえた気づき

・前回の活動をヒントに今回の制作のテーマを決めた。互いに「いいね」「へえ～すごい！」等、認め合う言葉が多く聞かれた。

活動⑥花火の表現活動と自由画制作

・夏だから花火を作りたい。手型もやりたいと意見があり花火の制作を行う。

環境をデザインする

・絵の具・筆等

探索活動を実践する

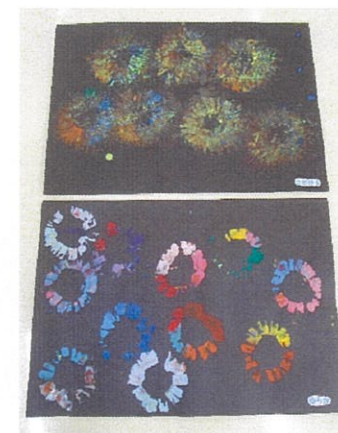
○活動内容

「夏らしいものを作りたい」という意見から花火を作る。その後の自由画制作では手型や指を筆のように使って色を付ける。

○活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関り

・「夏らしいものを作りたい」と子どもたちの意見があり、花火を作ることになる。絵具を使う際、「色が混ざらないように」と子どもが気づき筆を使い分ける等、意識して行う姿が見られる。

・自由画も絵の具を使うが、こちらは色を混ぜたり、思い切り絵を描いたり色塗りを楽しむ。



振り返りを踏まえた気づき

・絵具は色えんぴつ・クレヨンなどに比べ色を混ぜ合わせる楽しさや色の変化がよくわかり、好んで使うようになっている。

活動⑦運動会、入場門のテーマ決め

- ・運動会の入場門装飾を考える。

環境をデザインする

- ・机・椅子・ホワイトボード

探索活動を実践する

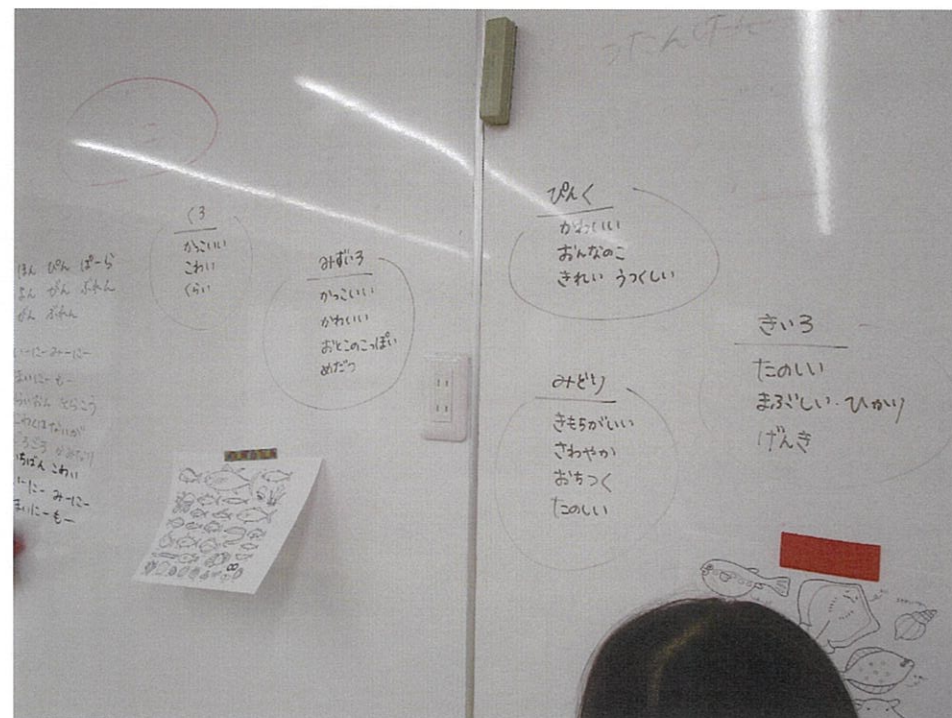
○活動内容

・入場門装飾のテーマを決める中で、以前「いろ」についてディスカッションした時に「みずいろが一番人気だった」と声が上がる。もう一度、「みずいろが好きな人？」と聞くとクラス全員が手を挙げた。好きな理由はやはり人それぞれだがそれでも全員が「好きだ」と答えたことに皆満足し、「入場門をみずいろ一色にしたい」と意気込みテーマが決定する。

○活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関り

「今までの入場門はどんな飾りだった？」と声があがる。

→今までは「恐竜」「虹」などのテーマで飾ったことを知らせると「あ～あれか」と思っていた様子の子もいる。その後、いろいろと好きな物等の名前が上がるが、名前がでるたびに「え～嫌だ」「好きじゃない」の意見が出るのが続く。そこで「それじゃあ、全員が好きって言えるものは何かないの？」と投げかけると、一人が「みずいろ」のことを思い出して「そうだった！みずいろだ」と全員が納得してテーマが決まる。



振り返りを踏まえた気づき

・装飾のテーマを決めるにあたり、これまでと同様に形ある何かに決まるものだと漠然と考えていたので、色をテーマにしたことは驚いた。入場門をどう飾るか、次回の話し合いに期待したい。

活動⑧入門場装飾の製作

- ・前回決めたテーマ「みずいろ」を基にデザインを考える

環境をデザインする

- ・絵の具・画用紙等

探索活動を実践する

○活動内容

・入場門のデザインを話し合う中で、「みずいろと言えば○○」とそれぞれが意見を出し合っていく。出た案を一人ひとりが画用紙に描いて門に貼る事にする。色を塗った絵の具が余ったので、手型をとると「これも貼りたい！」となり、門の脚部分に使用することにした。スペースが相空いているところは他のクラスや先生たちにも協力してもらうことになる。

○活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関り

はじめのうちは「みずいろの空」を作りたい子と「みずいろの海」にしたい子で意見が分かれる。「一つのテーマに統一した方がいい！」と主張する子もいれば「2種類描けば？」という子もいる。最終的に「テーマはみずいろだから色だけ統一して、描く絵は自由でいいんじゃない？」という案が採用され、何を描くかを決めるのはあつという間だった。全員がバラバラの絵になるよう子ども同士で被らないよう調整していた。



振り返りを踏まえた気づき

・「みずいろ」という共通のテーマはありつつもみずいろの中にも違いがあることに気づき、また意見を交わし合う子もいた。今回も自己主張する子は少なくお互いの好みを尊重し合っていた。